

単元名 学習のまとめ

配当時間 4時間

- 単元の目標 (1) 3年生で学習した筆使いや字形について理解し、書くことができる。
 (2) これまで学習したことを生かして、自分の選んだめあてに気を付けて、考えて書くことができる。
 (3) これまで学習したことを生かして、意欲をもって書こうとする。

標準的な展開例

03020301_001

【教材名】点画のしゅるい（硬筆）／『光』（毛筆）

(P. 40～P. 45)

【準備等】水書板，電子黒板，練習用紙

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 3年生で学習した基本点画について確かめる。 ★点画の種類を硬筆で書いて確かめよう ○基本点画を試し書きする。</p> <p>○点画の名称の理解を深める。 終筆の形や「…画目」という呼称を知る。</p> <p>○練習する。</p> <p>○基本点画を含む文字を探し，基本点画に親しむ。</p> <p>2～3 これまで学習してきたことを生かして『光』を書く。 ★学習したことを生かして書こう</p> <p>○『光』を試し書きする。 ○教材文字と試し書きを比較して話し合い，自分の課題を見つける。 ○『光』の六画目を練習する。</p> <p>○練習する。</p> <p>○まとめ書きをし，試し書きと比べて評価する。</p> <p>4 1年間の学習を振り返り，自分の学習の成果を確認する ★文字の大きさや，配列に気を付けて書こう ○教科書P. 45『おにたのぼうし』の一部を視写する。</p> <p>○自分の課題を見つける。</p> <p>○『おにたのぼうし』の5行を書く。</p> <p>○書き上がった文と試し書きを比べて自己評価する。</p> <p>○書き上がった文を読み合う。 自分の好きな文を視写する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 教科書P. 40～P. 41の漢字を試し書きするようにする。 基本点画の名称の確認をする。 点画は「…画目」という言い方で呼ぶことと終筆「止め」「はね」「はらい」の名称について確認する。 既習漢字の中の画の名称を発問し，理解を深める。（「そり」は4年生で学習） それぞれの点画を板書し，P. 40～P. 41の漢字（『一』から『氷』まで）を2回ずつ練習させる。 特に「曲がり」の筆使いでは，筆の軸を回さないように注意させる。 P. 57～P. 60「漢字表」から探させる。 隣同士，点画について問題を出し合って，楽しみながら点画を理解することができるようにする。 <p>【評】問題を出し合う活動を通して，3年生で学習した基本点画に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 『光』には，今までに学習した点画のどの要素が入っているか発表を促し，「横画」「縦画」「左払い」「はね」「曲がり」「点」があることを確認する。 教科書を見ないで書かせる。 書写用語を確かめ，教科書P. 43に書き込ませる。 「曲がり」から「はね」への筆使いはここで初めて扱うので，示範して確認する。 基本点画の筆使いを確かめながら書けるように，黒板などに掲示しておく。 自分の課題となる部分に重点的に取り組めるような練習用紙を用意して，選択できるようにする。 <p>【評】練習や作品を通して，「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童それぞれが自分のめあてについてどの程度達成されているか確認しながら評価する。 <p>【評】作品や自己評価を通して，自分の課題を考えて書く「思考・判断・表現」を評価する</p> <ul style="list-style-type: none"> 縦罫線に書くときに気を付けることを想起して視写するよう促す。 文字の大きさや配列のポイントについて確認する。 中心線が入った縦罫線用紙を使用して，文字の中心をそろえることを確かめながら練習するよう支援する。 行頭をそろえて書けるように，行頭に線を引いておいてもよい。 <p>【評】作品や自己評価を通して，自分の学習に対する「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間に余裕があれば，児童が好きな国語教材の一部を視写する時間を設けて，学習意欲を高めるようにする。

【 備 考 】